

Kodak
LICENSED PRODUCT
Black

KODAK Color Control Patches © The Tiffen Company, 2000
Centimetres Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color
Black

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

厚生新編

洋学文庫
文庫8
C 46
1

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

厚生新編

凍寒のニテ續キ
乙巳五月墨廿十三丁



淨書諸君にて此手行取目細みて先念社一書
重複を少々有り上ヶ本を上へ上せ
まち急譯者方、内五丁うち下
格店

瞽目樹

アルコトヲ

指魚

フテニアブル

魚木

ヘタヒニギルコト

ヘイフアーナム

○瞽目木樹
名譯

カシス 罂

カルブリンド

キム 蘭

カルボル エキスカ

△の義
△沉香
△御邊國

和蘭又アーチルホウトガムを名く東印度產の樹を一属唯一種のミリューピウス名其属をエキスカーカリア」と名く即ち瞽目樹の義あり此樹生母屬する乳様液を含む其液得て人眼に入きを失明する故ヨ此名アフロ○アーチルホウトガムと名る故ハ此樹の材真の「カルボルキミナガマ」をルホウトガム製法よりしてハ真の「カルボルキミナガマ」に價送り賣ふて何事もあり又マレイス地名まで「カエクタダ」又「カバル」マダサル地まで「ザラビニ」安貝那モ「マタヒリ」と名く共アフロ

良材

日本樹の義なり

此樹
馬路古

馬路古今

形
を甘遂大戟類の室の如き穂を有する内に三室なり
毎室滑澤の子三個を含む

幹或ハ露る根^は傷處^{アリ}皮と心の間^ニ堅実なる緋色^の端
質^{アリ}是^{ヨリ}此樹の白材^{アリ}幹大サニ指根大サ力臂^ヨ
過ぎた内諸色外皮日^{シラタ}^ム中^ミ有處ハ真黒、駁^ク碎易^キ
硝子^ノ如^ク火^ノ烘^キ油^フ流出^ス火^ノ上^モ小^モ蠟燭^ノ如^ク
燃^ル屬^ハ^伐日^ニ經^ル者^ハ佳香^{アリ}安息香^ノ如^ク一日
を注^ム者^も燒^シ香氣^{散^ル}或^ハ香木香料^ヲ和^メす
焚^シ香^ノ用^フ味苦^{タリ}沉香^ノ如^ク又支那^ヲ製造^シす^ハ伽羅^ヲ
似^テ但^一年^ノ塊節[、]片裂[、]朽^カ多^シ且^ツ蠟蜂^ヲ
蚊蠅^{久^シ}其脂液^を啖^ム者^ハ香氣最馥郁^ト
ノ^ア雄本^ハ雌本^{ヨウ}色暗^ク香氣^も佳^{ナリ}○テルヤタ^{名地}

擇用ふ

^{の坊間}

の産^ハ緋色、灰黒雜り細脉^{アリ}香氣殊^ニ佳^{ナリ}又赤黃
雜^ル者[、]全^く黄色^モ黄檀^ノ如^ク縱理^{有^ル}者^{アリ}黃^{ナシ}
者^も灰黒^ノ者の如^ク香^ト但^一焚用^シ灰黒^ノ者^を良^イ
擇用ふ

^{の坊間}

或^云波羅巴^モ沉香^トて坊間^ニ賣^ル者^ハ皆此木^{アリ}暹羅^{及^シ}
及^シ支那^{ヨリ}眞^ノ沉香^ト稱^ス其上品^の者^を伽羅^ト名^ス
交趾^{アリ}印度^人の将来^{來^シ}者^ハ價貴^シ一錢^ハ銀二錢^の
價^{アリ}云然^シも此說信^用之^{アリ}波羅巴^モ買賣^シ
沉香三種^{アリ}香氣^モ脂^ノ多^少是^モ品^を分^クナリ又或^ハ
說^ニ此樹^の根^ニ近^キ處^ノ心^{即^チ}伽羅^{アリ}云^フ火^ノ

四

投まれて乳香の如く焙解——芳香一室^を薰射「シヤム」年以
て又日本^{ヨリ生}ト日本^{ヨリ}カホリキレ即ち香木の至我を
以て稱^{シテ}其^ノタル名^ゲ其^ノ地^ヲ^{初生}中^ナ樹^ツ一株^ヲ携^シ歸^ス者
之比^シタルを味苦く香^キモ優^シク^シ花^ヒ美^シ生^セば支那^ノ人の税^ム此^ノ樹^ハ暹羅^{、交}
葉^{桃葉^モ}似^シく花^実生^セば支那^ノ人の税^ム此^ノ樹^ハ暹羅^{、交}
駐^ニ其^ノ國界^{ナシ}^按云^南^シ之^ノの危嚴上^モ生^セと云ヘリ又支那人の税^ム
此^樹老朽^テ木中^モ朽班^モせまざむ^シ香^キ無^シ其^ノ伽羅^ノ名
者^ハ便^シ黃金^モ等^ト、樹^の本^名ハ「キツシナ」^レと云油^キ多
火色^ノ黒淡^モ^濃其^ノ品^モ呂^モうち價^モ高低^{タリ}香木^モ取^ス者^ハ兵
士^ノ斧^ヲ推^ス深山幽林^モ入り老朽^ノ者^モ擇^ス伐^リ

帰り上好なる者ハ家の侍、佛も供すと云唐土本草の圖を
見よ朽木の壳を^は抜き樹枝一枝を副が^ハ其葉來り老
利鬼葉は似て有リ刻ハ筆シテ排布せり白檀の葉も亦同リ
羽狀は葉來り

東方諸國より加羅を貴重し、たゞを支那日本の王
宮大臣の家まで貴客を招請するゝ多金を以て香木
を償ひ其室を薰スミありを禮スル又東印度の諸地にて
寺觀中併前より焚スル此香と所無し。○内服にて心藏を強
壯す。細末或丁幾分尔と用ふ。並餡油、諸厄利垂
の醫。股痛風は獨用也。○沉香へ垂刺比亞方の計。手
一痛風及

方ニ配伍キ沉香の代リ前ニ謂アレ尤モウト用フ或
伽羅を亞刺比亞のアスパラニス^{アスパラニス}ト云赤^{アカ}詳者モ古
○亞墨利加地方ニ野伽羅^{アラガロ}名ニ一種リ^{アラガロ}其輕^{アラガロ}脂膏
少^{アラガロ}綠^{アラガロ}を帶テ諸色^{アラガロ}謂香^{アラガロ}味苦^{アラガロ}大塊^{アラガロ}而^{アラガロ}圓^{アラガロ}送
ア^{アラガロ}而^{アラガロ}高^{アラガロ}是^{アラガロ}族^{アラガロ}物^{アラガロ}殊^{アラガロ}口^{アラガロ}セ^{アラガロ}セン^{アラガロ}カラ^{アラガロ}セ^{アラガロ}詳^{アラガロ}造^{アラガロ}

○丘フローフ ヒヌスルホウト 蘭
コチニス コリアリア羅

羅甸^{ラドン}又「コッコニリア」又「ユツシーグリア」と名^{アラガロ}○コレニウス^{アラガロ}入
の說^{アラガロ}ハ^{アラガロ}テ^{アラガロ}の諸山^{アラガロ}ニ^{アラガロ}産^{アラガロ}也^{アラガロ}又アヒグ^{アラガロ}シ^{アラガロ}地^{アラガロ}の邊^{アラガロ}ニ^{アラガロ}生^{アラガロ}ミ^{アラガロ}
云^{アラガロ}リニナウス^{アラガロ}ハ^{アラガロ}アヒニ^{アラガロ}セ^{アラガロ}諸山^{アラガロ}の^{アラガロ}蘿^{アラガロ}口ム^{アラガロ}ハル^{アラガロ}テイ^{アラガロ}地^{アラガロ}及^{アラガロ}カルニ^{アラガロ}
ヲリイ^{アラガロ}ニ^{アラガロ}產^{アラガロ}ミ^{アラガロ}云^{アラガロ}カ^{アラガロ}ル人^{アラガロ}の說^{アラガロ}ダウヒ子^{アラガロ}各^{アラガロ}ニ^{アラガロ}生^{アラガロ}ミ^{アラガロ}

土人此皮を「獸皮^{アラガロ}を消敷^{アラガロ}」用^{アラガロ}故^{アラガロ}ニ或^{アラガロ}此^{アラガロ}「リス^{アラガロ}コリアリア」

ナリシテ^{アラガロ}ゲヒグレ^{アラガロ}地^{アラガロ}の人^{アラガロ}ハ葉及嫩芽^{アラガロ}を取^{アラガロ}綿布^{アラガロ}を黒

漆^{アラガロ}料^{アラガロ}シ^{アラガロ}婦人^{アラガロ}衣^{アラガロ}

箱^{アラガロ}を造^{アラガロ}衣服^{アラガロ}及^{アラガロ}防^{アラガロ}

サホイア國^{アラガロ}の土人^{アラガロ}ハ樹皮^{アラガロ}を去^{アラガロ}幹枝^{アラガロ}を煮^{アラガロ}汁^{アラガロ}を啜^{アラガロ}呢^{アラガロ}
を黃色^{アラガロ}漆^{アラガロ}木^{アラガロ}「ヒニスモト^{アラガロ}」と名^{アラガロ}アヒニ^{アラガロ}セ^{アラガロ}山麓^{アラガロ}の
人口^{アラガロ}山頂^{アラガロ}の^{アラガロ}人^{アラガロ}ハスコ^{アラガロ}ノ^{アラガロ}と名^{アラガロ}山麓^{アラガロ}の^{アラガロ}を^{アラガロ}山頂^{アラガロ}

み^{アラガロ}生^{アラガロ}古^{アラガロ}

トウル子ホルト^{アラガロ}人の^{アラガロ}挽^{アラガロ}は^{アラガロ}併蘭西^{アラガロ}の中國^{アラガロ}ニ^{アラガロ}財^{アラガロ}美^{アラガロ}を熟^{アラガロ}
セ^{アラガロ}アルハ^{アラガロ}人^{アラガロ}の^{アラガロ}挽^{アラガロ}は^{アラガロ}實^{アラガロ}ハ圓^{アラガロ}外^{アラガロ}堅皮^{アラガロ}而^{アラガロ}裂^{アラガロ}せ^{アラガロ}内^{アラガロ}
三棱^{アラガロ}の子^{アラガロ}○醫^{アラガロ}スコホリ^{アラガロ}の^{アラガロ}挽^{アラガロ}は^{アラガロ}カルニ^{アラガロ}ラリイ^{アラガロ}名^{アラガロ}古^{アラガロ}

高三四尺

皆灌木を見る葉滑澤鋸齒無く邊白く透明を以て
又峯穂毛生し紅葉を吐く花後較実を結ふ花初葡萄
房の如く暗緑色をす「父セミヤク」人合の説より用ひて扇
の如く鐵毛草にて軍兵兜上の鳥羽の如く毛翠の
内ふ里子を結ふ子狀心藏の如くスコナリ入ハ較実滑
澤すて扁平ハルテルヌタスコロイド草の莢の如くと云
功力全草收斎の性アリ葉を煎湯ヒ一口中咽喉
陰處の潰瘍を洗ヒ汚穢を除くスマツの煎汁の如く含漱剤に
○プリニウス人の所謂コチニヌ「赤色を染む皮根を用
て赭紅或ハ紫色を染む

○指魚譯名

ホモトキンシ名ケ名ル一魚屬なりゴロノヒウス人ハ厄利齊亞語
ミ「ボレーヌニユス」と名く此魚屬ハ胸鰭の下ニ線條の如
物下垂キリニナラス之を「ヒンドル」指と名く他ニ他の魚
屬ニ無き不の物を此魚特リ此アリ故ヨ「ヒンドルヒス」指魚
の名を命ぜリヒンドルペシタニウスと名る者ニハ五條其
他ニハ七條アリ
所謂下垂の物ハ此魚屬の最著一き目歟をアリ全身ニ
鱗アリ嘴甚く鈍までそり出一鰓膜ニ五或七の小骨
アリセーハニ子ニ魚屬も胸鰭と共ニ「ヒンドル」此線ハシモト

腰盤の位置と指
別々

此魚リニナウス三種を挙ぐ初の二種ハ西墨利か地方後の
一種ハ東方諸國の産なり

○第一種 五指ニ魚 譯名 ハイフヒビゲリ、ヒカルヒス
ホレノ子ニヌス キュイシカラリクス 罗

所謂猿狀の下垂物、但サ十二分、肘指大の一は過也。其中
央の二條、長サ身を等し、上有るハ短く、短く下有るハ最短也。
或云
身長サ八寸、ちヨミバ、鷹指最長の者の長サ一尺五寸、五尋をむ長井。
一あり尾端也
始んぐ、身よ、儀也。又此角の長サを精く測るふ。
九寸五分

尾^テ_リノ^ミ_ツ、第三最長の
此魚ハコロノヒウス^ニ名「セバ」の珍物庫を買^得初マ改
羅已^ニ知^リテ^リ其記^ニ云頭^ト身^ハ洞^サト^リ高^ク頭^大ナリ
ギ嘴^鉢頭^ニ細^ニ善^シ舌滑澤^{アリ}眼円^ク大サ中等頭
の両側^ノ嘴^角ニ直接^リ着^ク鼻孔大^ク鰓^ノ開^キ頤^洞レ
セイド^スト^レト^フ魚部^ノ名不詳^ニ曲^リ腹^狹扁^レ前^鳍七骨後^胸
贊^{十六}骨共^ニ尖^ク刺^リ如^レ腹^鳍六骨^六骨内^ニ
一骨刺^リ尾^鳍三^千骨、内^ニ二骨刺^リ尾^ハ
潤大十七骨

鱗八甚大有毛白燒屈一薄一後方包鋸止毛沙

手よ觸く粗糙、脱落し易い。全腹ハ銀色、背^赤
を帶む。諸鱗皆白。効用あり。詳なく記す。

○第二種 非尔義尼亞一指魚 譯名 ヒルギニアニセヒシ
ケルヒス 蘭 ホレーヌミヌヒルキニキス 蘭

リナウスの説小鰓膜の光線七ツ。前脊鱗亦七光線。後脊
鱗十三光線。其内一線尖利。胸鱗各十五光線。腹鱗六ツ
内一線尖利。尾鱗十六。内二線尖利。尾鱗按ノ即十五線。
鰓蓋鋸齒アラ。○前脊鱗の第一線最短。○尾鱗ハ

洞くして尖毛

○第三種 巴刺題斯魚 譯名 パラディスヒス 蘭

ホレーヌミヌ パラディス 蘭

東印度產の魚。全身橙色或金黄色。エドワルド名
の鳥志中は此魚の写真圖アラ。此も此属の第三種トサ
マニゴヒス。又パラティスヒスと名く。長九寸。洞二寸。體頗る圓。
鱗堅く。尾叉分。脊鱗二ツアラ。セイドストレープ前ノ出著く。
背よ近く曲を通る諸鱗及尾ハ他部より色濃い。○
鰓鱗の下よ七條の毛様線アラ。其長さハ一尺六寸漸く短小
して二寸よ至る。○エドワルドの説よ此魚の著目は目後ハ頭
の両脇より孔アラ。眼と嘴の間よ在り。

○フライデアル 蘭

不実なり其樹を「アーチ、レチキニラタ」と云ふ「アンナ」樹属の名
一種より他種と區別する故ハ其实は刺なく又鱗なし皮
平滑々々網紋有り「マーバルセコロイド」トナフ書又所謂「アンチ
マラム」モリ「リュウヒウス」名「アシノナの弟一種即ちヨリ常アシ
ノチ」是ナリ「スロア子」名ハ最大アシノナ葉狹長黃色尖円の
大実を結ぶ者と顯せり皮滑澤々界段文有り宛も「圭
タルト」雜卵と乳汁と和し燒ちアテの如一故ニ諸元利亞よ
テ「キニスナルド アヌアル」と名く

蔓三尺毎分心藏形花六瓣質革の如く花梗無一其外
の三瓣ハ大に長く先端が厚一内の三瓣ハ足虫形ヨリ蔓の

分より小なり鬚蕪見難く薬ハ多一内ニ子室有リ子室の
上ニ実基有リ心蕪無一唯鈍有柱頭多く簇生する之
実ハ大にて形心藏の如く皮滑澤々格眼様の段文有リ
中子滑澤より長く扁一

実人掌より大ニ形牛心ニ似テ滑澤サテ鱗甲疣瘡有リ
格子文無くハ五角有リ熟ニ成暗黃色或ハ赤を帶ぶ取
何つうひ茎ケジメ有リ諸色と為く速ニ腐る肉ハ白く軟脆
ニ味甜く香辛微すリ印度人ハ食用ん未熟の実ハ完
ニ切く乾用經久の下利ニ効有リ○カリビセ諸島ニ産
ニ仙蘭西人ガニマニカールデアニニ辟ニ牛心の義ニ

「ムヒウス」^{ムヒウス}所謂尋常東印度產のアニナ^{アニナ}ハ「リシナラス」亦此より屬を「ヤクギニン」^{ヤクギニン}ハ新^種屬名を建^ム「ズレ粘滑^{ズレ}ケ」アニナト名く其肉粘滑あり故ナリ味も美ナリ^{アリ}炮^{アリ}る搗^{アリ}梓^{アリ}の如^トキ云。○「タクギニン」ハ「マルチニ^{マルチニ}」^名の林中より野生の者を見^{アリ}形狀大異無^{アリ}一組花の外辨合生^{アリ}一萼^{アリ}少^{アリ}而張りて花の全形當時の帽^{アリ}ノ似^{アリ}美^{アリ}疣^{アリ}刺^{アリ}無^{アリ}一箇西人是を「カシマン^{カシマン} モル左ウキス^{モル左ウキス}」^名呼^フ「スクテリグ^{スクテリグ} カシマン^{カシマン}」^名義ナリ故^{アリ}予^ス「スルト^{スルト} アフル^{アフル}」^名ト云。

○魚木 譯名 ヒスボーム^{ヒスボーム} 蘭 ヒスシニア^{ヒスシニア} 罷

○榕^{デグ}按^名 榆姑^{琉球} 相思子の類の總名也^{アリ}

目徵ハ柱頭尖^{アカシ}り莢^{アカシ}を結^ブ莢^{アカシ}四翼^{アカシ}リ○垂^{アリ}二種を屬^ス
○第一種 小魚木^{ヒスボーム} ヒスシニア^{ヒスシニア} 罷^{アリ}

一テリナ羅

リーナウス^{リーナウス}ハ「コニールキーム^{コニールキーム}」珊瑚木^{珊瑚木}の屬中^{アリ}収^ム故^{アリ}エリーテリナ^{エリーテリナ}の名^{アリ}命^ム「スロア子^{スロア子}」^名ハ複葉無刺の珊瑚木^{珊瑚木}と名く其葉苦櫻木^{アカシ}似^{アリ}莢^{アカシ}の狀^{アカシ}水磨^{アカシ}の車輪^{アカシ}似^{アリ}アリミル^{アリミル}人^人ハ「パナルド^{パナルド} アカシア^{アカシア}」^名の莢^{アカシ}翼^{アカシ}有^{アリ}者^{アリ}、^{アリ}美^{アリ}稱^{アリ}「古^{アリ}字^{アリ}」^名アリ^{アリ}「厄利齊亞語^{厄利齊亞語}」^名ハ「イクナヲメチア^{イクナヲメチア}」^名魚^{アリ}毒^{アリ}有^{アリ}義^{アリ}此樹^{アリ}葉^{アリ}碎^{アリ}河池^{アリ}置^{アリ}魚^{アリ}碎^{アリ}水面^{アリ}浮出^{アリ}手^{アリ}捕^{アリ}ベキ

諸厄利亞入ハ此樹ト「ドクウタニアトニ」と呼ぶ「呑ア子」の後ヨ
魚を麻酔マツイシテ法、根皮を搗ミクミテ末スルシテ布袋ハサカヲ納河中ヨ

て捨免む河中の水族拳ニシマツケミ、醉ソラシか根皮を河中まで折傷ハリケンす。久も亦よく其効ヨウウを此より辭死ハシスたり。魚ハ食ヒムクひて些シテの毒カム有リるを無リ。

前種ヨリ區別ハ羊齒を有シ一葉先央ノリ鉢
ナリ其他
前種ヨリ似テ左之ノ大有リカルタゲナ一地の林中海
岸ニ多シ

○ヘイブヒニギルコロイド 蘭 シヤ
カマーレア 罗
又「スマルメセレニ」を名く灌木様の草なり

エーリセ 国名 ホリニハ 諸厄利亞スヒル ケコリ左 波羅
尼亞ニ 培ルニイ ヒル ミンニスニイ 獨乙ソ 兮ルハルスス 又
セイデルバストと名く

日徵 花 单瓣漏斗狀四出多有葉葉 花柱 花柱 心 花 桂 桂 心
後 よ 変ハシメル 実ミツタマ 実或ハ多液の者アリ 或ハ乾枯の者アリ
而実中ミツタマ 長細子ロウソウ アリ

此草種類多アリ ミルヒル畠の植学韻府ヨハ四十種アリ 載セト ウルチキルト ゲ書ヨハ三十五種を載セフ 今茲ヨハ 最常有アリ
者二種アリ のこを舉く

○第一種 垂麻葉の者 ヘイアヒニギル ヨロイド メット スマルレ

フレスブアーテン 薦 テイメラト ホリス リニイ 罷

○第二種 葉灰色柔軟歪形の者 ヘイアヒニギル ヨロイド メット
エアミテ ゲレセ サクテ ブラーテン 薦 タルトン ライレ 罷

以上二種ハ灌木なり 伊斯巴尼亞、意太里亞、南仏蘭西等ヨ
産アリ

○ヘイア アクホトト 薦 ア左ルラ カラム ホラ 罷

瞿ク モ ス 「タマラトニガ」 ス カラム ホラ ス ト 名 此レ通常のアリム
ビニグアリ 麻辣マラハル 褶ハル 尔モ 「タマラトト ハ」 ス カラム ホラ ス ト 名
リムヒ ウ ス ハ 此实を「アリニニスス テルラ左ト」と名く 星李ヒメイ の
義アリ 実を横断スル が星状ハシメル を為スル 故アリ バウヒ

ニエス翁ハ、卧垂の八稜果と名い五稜を誤く八稜と認シ
コメヘイシ翁が著「マラブルセ」書、圖考に五稜
ありを以く證キテ、アコスタ翁の説、麻辣襪尔人、波尔杜
尾尔人の稱もカラムボラス、マレイス、其他印度人の呼ぶボリム
バハ溝路有、四矢を云「ブリュビング」ハ麻辣襪尔の語で
五稜を云う然きカラムボラスとハ別を小似アリ

此樹高サ人身等、上は葉四布、繖の如く緑陰翁聲、
モ葉一梗四五對、葉李葉似て小なり、茎至多、隨く
大く、最大大、面濃緑、背ハ毛く、灰色を帶ふ、夜ハ
下ヌ垂く、眠る枝或ハ幹稍大、花を出、花ハ擴簇、
清ちるの外所用無

○榕按、訶黎勒、一名、訶黎勒一名、洪翁と云、味
淡き故、鑒、鑒、本、本、六、七、路、者、色、熟、色、紅、
但、一、四、路、六、七、路、者、色、熟、色、紅、
味淡、又、甘、者、酸、者、甘、者、生、食、人、益、
暑、消、熱、解、酸、者、食、品、加、煮、或、糖、
清、者、外、所、用、無、

○榕按、訶黎勒、一名、洪翁と云、味
淡き故、鑒、鑒、本、本、六、七、路、者、色、熟、色、紅、
味淡、又、甘、者、酸、者、甘、者、生、食、人、益、
暑、消、熱、解、酸、者、食、品、加、煮、或、糖、
清、者、外、所、用、無、

考を俟フ



